

第3章

基本理念と
基本目標

第3章 基本理念と基本目標

第1節.

基本理念

町民憲章

恵まれた自然や古い歴史の中で培われた伝統に誇りと自覚を持ち、
明るく住みよい町を築き、後世に受け継いでいく

竜王町の福祉が目指す基本理念

みんなの「あい」でつくる共生のまち 竜王

高齢分野において目指す基本理念

いつまでも自分らしく暮らせる共生のまち 竜王

本町は、地域福祉計画において、『みんなの「あい」でつくる 共生のまち竜王』を基本理念に据え、まちづくりを進めています。

「あい」とは、「他人への思いやり（愛）」「自分の住んでいる地域への“愛”着」「地域で見守る（目（eye アイ）」を示すとともに、住民、事業所や行政などの本町に関わるすべての人による「つながりあい」を表しています。また、「共生」とは、支える側、支えられる側の区別のない「つながりあい」により、お互いに支えあい、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会を表しています。

本計画では、この基本理念のもと、高齢者分野の基本理念を「いつまでも自分らしく暮らせる共生のまち 竜王」とします。

長い歴史の中で培われてきた竜王の良さである「支えあい」のもと、高齢者が自身の知恵や経験を活かして、多様な交流の中で活躍し、自分らしく暮らせるまちを目指します。また、支援が必要な状態になっても、周囲の人との支えあいにより、いつまでも自分らしく暮らせるまちを目指します。

第2節.

基本目標と施策体系

(1) 基本目標

本計画においては以下の3つの基本目標を軸に、高齢者がいつまでも住み慣れたまちで暮らしていけるよう各施策を展開していきます。

基本目標1

地域ぐるみの介護予防・健康づくりの推進

健康寿命の延伸や介護予防に向け、誰もが参加しやすいよう、情報の周知やきっかけ、場づくりに取り組みます。

基本目標2

地域共生社会の実現と 地域包括ケアシステムの深化・推進

支える側・支えられる側という従来の関係を越えて、多様な主体の「支えあい」による地域づくりを進めます。

基本目標3

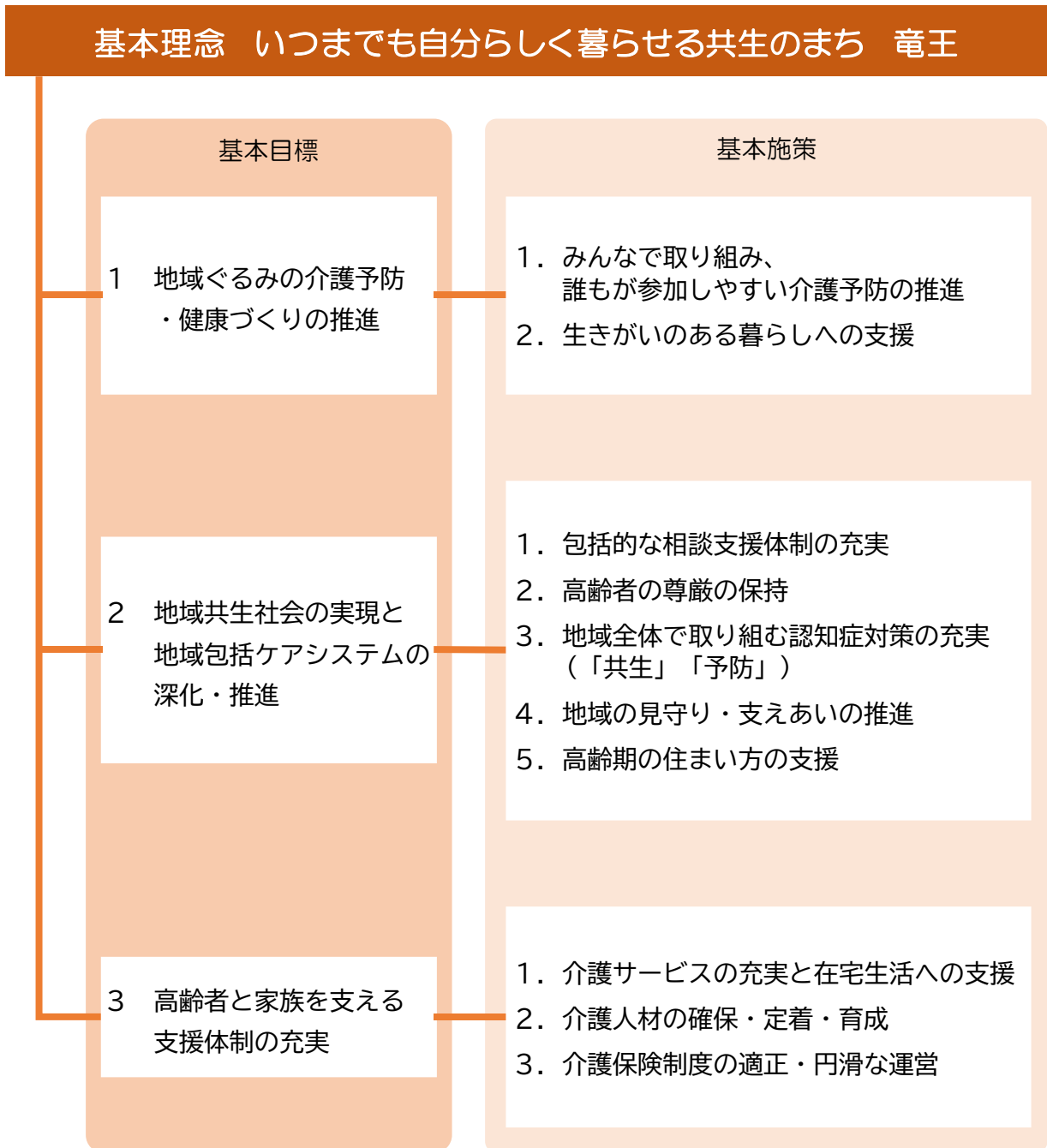
高齢者と家族を支える支援体制の充実

必要な人が介護保険サービスを利用できるよう、相談体制の整備や制度の周知に取り組むとともに、介護現場を支える人材の確保・育成や負担軽減に努めます。



(2) 施策の体系

基本目標に対する施策の体系を、次のとおり設定します。



(3) ロジックモデル

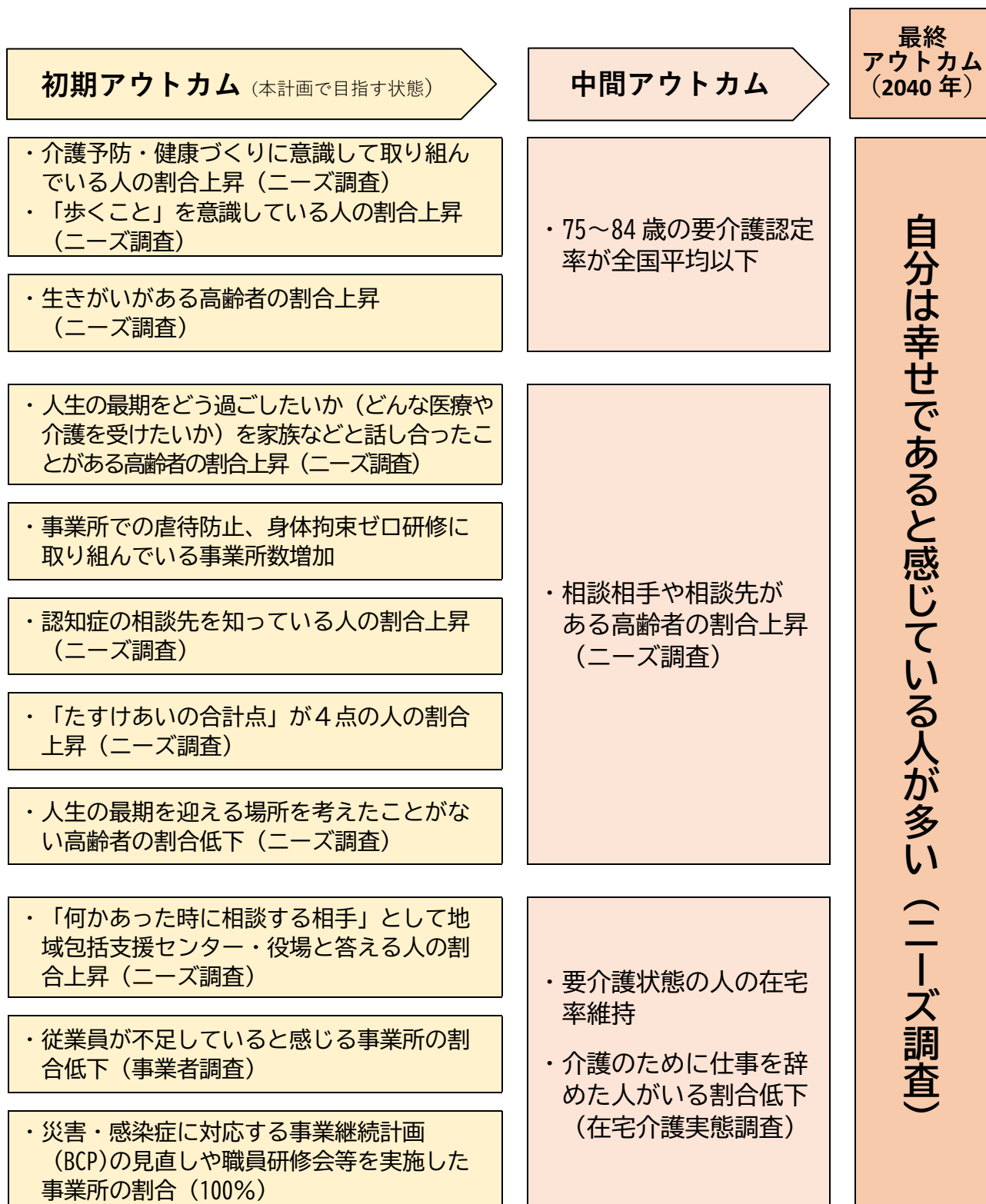
ロジックモデルとは、事業の立案や評価を行う際に用いられる枠組み・考え方の一つで、「こうしたら（活動の結果＝アウトプット）」「こうなった（結果から得た成果＝アウトカム）」という論理的な因果関係を順番に考えていき、ある計画が最終的に目指す目的を達成するまでの道筋を体系的に示すものです。

最終的に目指す目的を「最終アウトカム」とし、最終アウトカム実現のために達成したい目的を「中間アウトカム」、中間アウトカム実現のために達成したい目的を「初期アウトカム」として設定します。

基本理念	基本目標	基本施策
いつまでも自分らしく暮らせる共生のまち 竜王	1 地域ぐるみの 介護予防・ 健康づくりの推進	1 みんなで取り組み、誰もが参加しやすい介護予防の推進 2 生きがいのある暮らしへの支援
	2 地域共生社会の実現と 地域包括ケアシステムの 深化・推進	1 包括的な相談支援体制の充実 2 高齢者の尊厳の保持 3 地域全体で取り組む認知症対策の充実（「共生」「予防」） 4 地域の見守り・支えあいの推進 5 高齢期の住まい方の支援
	3 高齢者と家族を支える 支援体制の充実	1 介護サービスの充実と在宅生活への支援 2 介護人材の確保・定着・育成 3 介護保険制度の適正・円滑な運営

下の図は、左側の26ページに本計画の施策体系、右側の27ページに計画のロジックモデルを示しています。

本計画のロジックモデルは、本町が目指す「自分は幸せであると感じている人が多い」を最終アウトカムとして設定し、これを達成するために各基本目標で目指す主な成果を中間アウトカム、各基本施策で目指す主な成果を初期アウトカムとして設定しています。

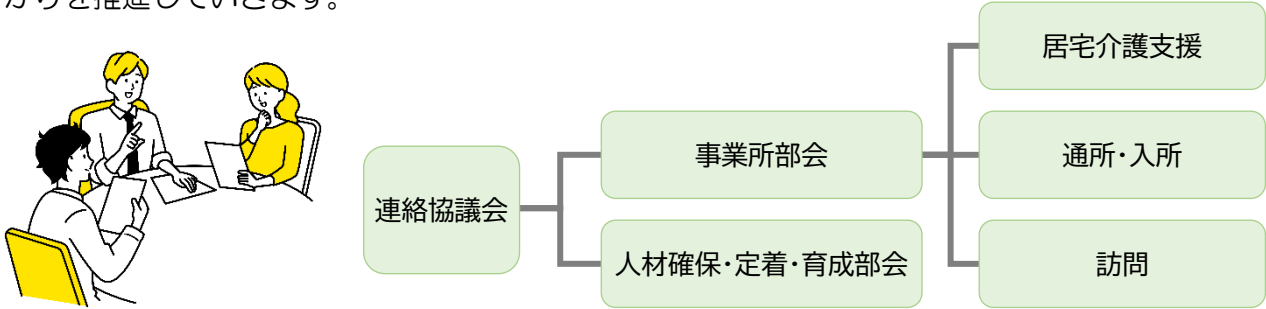


重点取組 1

竜王町介護保険事業者連絡協議会

竜王町内の介護保険事業者間の情報交換、協議等をしていただく場として、また、事業者および介護職員等の質の向上、事業者間の連携を図ることを目的として、竜王町介護保険事業者連絡協議会を設置します。

介護分野だけでなく、行政、医療機関、障害者支援機関等の多種多様な組織機関との横のつながりを推進していきます。



重点取組 2

竜ウォーク

「歩く」ことは QOL(生活の質)の要です。80 歳代になっても元気に歩けるからだづくりを目指し、「歩く」ことの促進に向けた「竜ウォーク」の取組を実施します。

歩くことのメリット

- ▷フレイル予防
- ▷認知症予防
- ▷生活習慣病予防
- ▷病気や障がいがあっても、杖や歩行器を使いながらできる
- ▷人と交流する機会が生まれる
- ▷足腰の痛み予防
- ▷転倒予防
- ▷男女問わず、一人でもできる
- ▷など



<3年後の目標>
「歩くこと」を
意識している高齢者
50%

令和6～8（2024～2026）年度3年間の取組

内容	事業
<ul style="list-style-type: none"> ● 日常に「歩くこと」の意識づけ ● メリット（知識）の周知 ● 「歩くためのからだづくり」と「負担の少ない歩き方」の習得 ● 歩く理由や機会を提案 ● 年齢や身体状態などを考慮した目安となる目標（歩数、時間、頻度）の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通いの場サポーター・健康推進員向け研修会の開催 ● 前期高齢者を対象とした「地域共生フォーラム・おれんじフェア」の開催 ● 地域への出前講座 ● 他課、関係機関、企業などとの連携